



静岡県山岳連盟 〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-1-17 TEL (FAX) 054-288-7512 編集発行/総務委員会 平成24年7月23日発行



5月19日、平成24年度の通常総会がもくせいの会館にて、委任を含む26団が出席し開催された。

平成24年度通常総会 新役員・事業計画承認

会長に滝田氏再任・専門委強化図る

加盟団体の減少なか、組織強化の対策として専門委員会の充実を打ち出した。これまで専門委員会の活動は、委員長一人が動き、組織的な運営がなされてい

財政の健全化を さらに、財務基盤強化の必要性が提起された。23年度の決算では実質収支のバランスが崩れ、財政悪化が表面化した。

Table with 2 columns: Position and Name. Includes 24・25年度新役員 list.

の再編を行ない、各委員から多くの提案、意見を集め、会員の求めているものを提供し、岳連の事業に大勢の参加が得られるよう委員会の強化を図るとした。

恵を出し合い、委員の協力を求め改善を図っていくとした。23年度の事業報告の後、富士山の個人パトリールが問題視され、岳連が南アの相談所のように、富士山パトリールや登山相談に対応できないかとの質問が上がった。

この後、役員改選の議事に移る。慣例により選考委員会を設置して協議することとした。競技の結果、会長に滝田氏、理事長に木ノ内氏等の案が豊田委員長から提案され、異議なく承認された。

が提案され、ブロック推薦の常任理事とともに承認した。24年度のスポーツフェスティバルは、総会の席上、開催地の西部ブロックから開催要項が発表され、11月17日(土)、18日(日)愛知県境にある湖西連峰を会場に実施することとなった。

特別講演

マナスル(8163メートル)登頂

工藤誠志氏 (富士宮山岳会会長)



サマ村からのマナスル

総会に引き続き、特別講演が行われた。昨秋、公募隊に参加し、マナスル(8163m)に登頂した、富士宮山岳会会長の工藤誠志氏によるマナスル登山記である。

高所順応に努める。登山活動がc1、c2、c3へと進む。c3からは、夜寝るときは酸素マスクをつける。c4には酸素マスクをつけて行動。c4から登山に向けてアタックを開始。ネパール人サポーターとともに3時出発。

を象徴するピナクルと同じ高さとなる、この高度になると20歩歩い



マナスル山頂

- ・期日 11月17日(土)18日(日)
・会場 湖西市「湖西連峰」
・コース・募集人員
Aコース・一般(一泊二日)20名
17日(土)梅田公園~嵩山~梅田公園(幕営)
18日(日)梅田公園(バス)~親水公園~廃寺跡~神石山~梅田峠~梅田公園
Bコース・高校(一泊二日)20名
Aコースと同じ日程・ルート
Cコース・一般、高校(日帰り)80名

湖西連峰に集まろう 県内岳人の祭典 スポーツフェスティバル

18日(日)梅田公園(バス)~親水公園~不動の滝~廃寺跡~神石山~梅田峠~梅田公園
集合
A、Bコース 17日(土)梅田公園 14:00
Cコース 18日(日)梅田公園 8:30
詳細は実施要綱参照のこと。
問い合わせ先
湖西山の会 飯田方 054-576-0322

て呼吸が激しくなり、一歩足を前に出すのがとても苦しい。最後の稜線の雪面を登りきると、山頂を示す五色の旗を巻いた雪魁に出る。マナスル山頂だ。10月6日、10時15分であった。

今年度の第51回全日本登山体育大会は10月27日(土)~29日(月)の間、福井市ほか6市町を会場に、「白山開山の祖「泰澄大師」祈りと歴史を辿る山々」をテーマに、福井県山岳連盟が主管して開催される。

参加予定人数は300人で参加費は1人3万3千円である。日程
27日(土)福井市内13時から受付、開会式講演会、夕食、ガイダンス
28日(日)各登山コース↓芦原温泉
6時から登山行動↓芦原温泉にて交流パーティー、閉会式
29日(月)朝食後解散
問い合わせ、
福井県山岳連盟 中村隆喜さん(090・4326・4672)

編集後記

岳連ニュースが久々に発行できました。以前から復活を望む声が多かったが思うように発行ができなかった。いままで個人に任せきりであったが、組織で動かないと熱意だけでは長続きはしない。継続して発行できるように会員の皆様のご協力をお願いします。(TK)

# 第67回国体予選会 浜松SCC

## 東海大会出場選手決まる

### 総合1位2位選手

第67回国体(岐阜国体)の静岡県予選会は、5月3日(木)、浜松スクエアクライミングセンターで行われた。少年男子17名・少年女子7名・成年男子4名・成年女子3名の選手がエントリーし、代表権をかけた熱戦が繰り広げられた。

競技の難易度を決める、ルートのセットは愛知県の中周兵氏にお願いした。

リード競技は、成年・少年とも共通コースで、男子はルーフを正面から超える13a、少男



第2課題は、少男は、4級↓2級↓2級↓3級↓3級で、伊藤優、田邊、吉田隣生と続いたが第2課題は完了。成男は、

第2課題のみ少男と共通課題で2級3級↓2級↓1級2級↓2級で、第3課題の完登は出なかったが、完登2のトライ数で米山、倉島、伊藤裕と続いた。女子は成年・少年共通コースで、6級↓4級↓4級↓3級4級で、少女は北脇、青木、成女は村松、山田と続いた。

リードとボルダリングの総合成績で、順位を決定し、1位と2位の選手が国体選手としての代表権を獲得した。成年男子はこのまま国体に進めるが、他の3種別は7月に行う東海大会を突破して本大会に出場できる。

第67回国体予選会表彰者			
成年男子	1位	伊藤 裕貴	浜松スクエア
	2位	倉島 将吾	倉島木工
	3位	米山 修平	遠州鉄道
成年女子	1位	村松亜梨紗	常葉学園大学
	2位	山田 紗弓	立教大学
	3位	中原 早貴	専修大学
少年男子	1位	田邊 匡律	浜松日体高
	2位	吉田 隣生	浜松日体高
	3位	伊藤 優輝	浜松日体高
少年女子	1位	北脇 順子	浜松日体中
	2位	青木 麻優	富士宮西高
	3位	望月香菜子	富士宮西高

1位、2位の選手が67回国体選手に内定する。

(諸戸)

# 未来のクライマー集まる スポーツクライミング大会

岳連主催の第8回小・中学生スポーツクライミング&浜松大会が、4月1日浜松スクエアクライミングセンターで行われた。小・中学生の未来のクライマー20名が小学生の部と中学生の部に分かれて、ボルダリングの壁に挑戦した。

この大会は、国体山岳競技がクライミングのみとなり、競技の性格上高校に入ってから取り組みでは厳しい面があり、小中学生のころから人工壁に慣れ親しんで技術を向上させることと、将来の優



秀選手の発掘の場として活用している。

**大会責任者のコメント**

この大会も8回迎えた。ひとえに参加する選手、スタッフ、スクエアクライミングCの皆さんのおかげです。大会はカテゴリーにかかわらず、登れたり、登れなかったりと様々だ。壁を見るのが初めてという選手もいた。しかし、保護者に見守られ、仲間がいて、クライミングの時間を共有できた喜びや、一手でも多くいけたうれしさ、もう一手出なかった悔しさなどすべてを含めて「楽しかった。またやりたい」という気持ちを作っていた。第1回大会に出場した小学生が、現在、兵庫の有名な、高校のクライマーに成長していたことがすごくうれしかった。

(米山)

# 登山界の牽引役に

## 平成24年度 日山協 通常総会

平成24年度日本山岳協会の通常総会が、5月20日(日)10時30分から岸記念体育館で開催され、正会員(都道府県の連盟・協会の会長)45名(委任2名)が出席した。

総会に先立って、神

- 議事**
- 第1号議案 平成23年度事業報告(案)について
  - 第2号議案 平成23年度収支決算報告(案)について
  - 第3号議案 平成24年度収支予算に係る付帯議決について
  - 第4号議案 公益社団法人移行時の副会長の選任及び定款変更の案の附則への記載について
  - 第5号議案 公益社団法人移行時の監事の選任及び定款変更の案の附則への記載について
  - 第6号議案 公益社団法人移行時の理事について
  - 第7号議案 (公社)日本山岳協会役員報酬等に関する規程(案)について
  - 第8号議案 定款変更の案及び諸規定変更の修正等の会長一任について



見や、連盟・協会の抱える問題などが報告され、各議案とも全会一致で承認され15時散会した。

総会に提案された議案は表のとおりで正会員からは、公益法人への移行報告を求める意見があった。

# 平成24年度 日山協 競技委員総会

4月1日(日)競技委員会総会が東京の日本青年館ホテルで開催された。

神崎会長から公益法人化に向けた組織作りが重要と挨拶。

会議の主な内容

- 1 第67回岐阜国体
- 2 第68回東京国体
- 3 競技委員会の組織
- 4 規則の一部改定
- 5 国体監督の資格
- 6 第3回高校クライミング選手権大会(案)
- 7 地区別出場割当数

## 南ア春山相談所開設 沼平指導センター

南アルプスの春山相談所が4月28日から5月6日の9日間、沼平の指導センターで開設された。

県連対協からの要請により、岳連から指導員を派遣し、登山者の相談、指導及び天候や雪の状態などの情報提供を行い、安全登山の一翼を担った。

連休の前半は好天から雨天、ガスの日が続く、茶臼岳や聖岳、青雉山への入山者はいたが赤石岳、荒川岳への登山パーティは少なかった。

後半は天候に恵まれ南アの各山域に多くの登山者が入山するが、雪が多く引き返すパーティもあった。

4日、初めての春山登山で茶臼岳を目指していた2人の登山者が、樺の段の上の尾根上で濃いガスとトレースのない道に迷ってしまい、登山者



東海ブロック出場数			
	成女	少男	少女
H24岐阜国体	1	2	1
H25東京国体	1	2	1
H26長崎国体	1	2	1
H27和歌山国体	2	2	1
H28岩手国体	1	2	1
H29愛媛国体	1	2	2
H30福井国体	1	2	1

